

# 自然の土を利用した土系舗装に関する研究

寒地道路保全チームでは、自然の土を利用した土系舗装について、積雪寒冷地における適用性を検討しました。土系舗装は、やわらかく、水を吸い込むため、凍結融解作用や除雪に弱い舗装のため、冬から早春にかけて人が入らない、除雪の必要の無い場所での使用が適していると考えられます。

## 土系舗装とは

土系舗装とは、自然の土などを使用した舗装で、次のような特徴があります。

- 自然な色合いなので見た目がよい（景観性）
- 弾力性があり、足への負担が少ない（柔軟性）
- やわらかいので、転んだときに大きなけがをしにくい
- 水を吸ので、夏場の舗装の温度が上がりにくい



土系舗装(札幌市内)

## 土系舗装の材料

土系舗装は、自然の土と、水と、土を固めるための接着剤を混ぜて作ります。



よく混ぜ合わせて道路に敷いて固めると土系舗装の完成

## 研究内容

土系舗装は、やわらかく、水を吸い込むため、**除雪機械や、寒さに弱い舗装**です。そのため、北海道で利用するための条件を検討しました。



除雪車の重みによって壊れた箇所



舗装の中の水が冬に凍って、春に溶けることによって(凍結融解作用)舗装がスポンジのようになる。



除雪機械があたり削れた箇所



冬の間に、除雪をせずに雪を残しておいた箇所は、除雪車や、冬の寒さによって舗装が痛むことがなく、きれいな路面のまま春を迎えることができました。

土系舗装は、除雪車の影響を受けにくく、積雪状態が保たれている場所で使うことが望ましいと考えられます。例) 公園内の遊歩道、展望台